



## 2021年12月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2021年11月11日

上場会社名 株式会社 ノーリツ  
 コード番号 5943 URL <https://www.noritz.co.jp/>  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長  
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役兼専務執行役員  
 四半期報告書提出予定日 2021年11月12日  
 配当支払開始予定日 —  
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有  
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

上場取引所 東

(氏名) 腹巻 知  
 (氏名) 竹中 昌之

TEL 078-391-3361

(百万円未満切捨て)

### 1. 2021年12月期第3四半期の連結業績(2021年1月1日～2021年9月30日)

#### (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2021年12月期第3四半期	137,577	8.3	4,118	—	5,092	303.1	6,247	—
2020年12月期第3四半期	127,067	△13.5	368	—	1,263	707.6	△6,069	—

(注)包括利益 2021年12月期第3四半期 8,099百万円 (—%) 2020年12月期第3四半期 △7,331百万円 (—%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2021年12月期第3四半期	135.84	135.50
2020年12月期第3四半期	△129.86	—

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2021年12月期第3四半期	195,365	116,600	57.6
2020年12月期	189,726	110,971	56.5

(参考)自己資本 2021年12月期第3四半期 112,549百万円 2020年12月期 107,148百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2020年12月期	—	16.00	—	19.00	35.00
2021年12月期	—	32.00	—	—	—
2021年12月期(予想)	—	—	—	51.00	83.00

(注)直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

### 3. 2021年12月期の連結業績予想(2021年1月1日～2021年12月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	178,000	△3.2	3,000	△37.0	3,900	△34.2	5,500	—	119.58

(注)直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無  
新規 — 社 (社名) 、 除外 — 社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

- ① 期末発行済株式数(自己株式を含む)
- ② 期末自己株式数
- ③ 期中平均株式数(四半期累計)

2021年12月期3Q	50,797,651 株	2020年12月期	50,797,651 株
2021年12月期3Q	4,796,973 株	2020年12月期	4,814,877 株
2021年12月期3Q	45,995,278 株	2020年12月期3Q	46,738,225 株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

業績予想につきましては、発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は、今後様々な要因によって予想数値と異なる場合があります。業績予想に関しましては添付資料のP. 2をご参照ください。

(四半期決算補足説明資料の入手方法)

四半期決算補足説明資料は2021年11月11日(木)に当社ホームページに掲載いたします。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 連結経営成績に関する説明	2
(2) 連結財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	3
(1) 四半期連結貸借対照表	3
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	5
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間	5
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	7
(継続企業の前提に関する注記)	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	7
(連結の範囲又は持分法適用の範囲の変更)	7
(追加情報)	7
(セグメント情報)	8

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 連結経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間における国内経済は、長期間にわたる緊急事態宣言および蔓延防止等重点措置により、事業活動の停滞や雇用情勢悪化など経済情勢の先行きは予断を許さない状況が続きました。また、海外においては、中国や欧米を中心に経済活動が回復しつつあるものの、東南アジアでは感染が再拡大し、ロックダウンが発生するなど、依然として不確実な状況が継続しました。

このような状況のもと、当社グループは新型コロナウイルス感染症拡大による経済活動の制約に対処しつつ、新たな中期経営計画「Vプラン23」を開始し、初年度計画を順調に遂行しました。

当第3四半期連結累計期間の売上高は1,375億77百万円（前年同期比8.3%増）、営業利益は41億18百万円（同1,017.4%増）、経常利益は50億92百万円（同303.1%増）となりました。親会社株主に帰属する四半期純利益につきましては、62億47百万円（前年同期は60億69百万円の親会社株主に帰属する四半期純損失）となりました。

セグメント別の経営成績は、次のとおりであります。

なお、第1四半期連結会計期間から、セグメント売上高につきましては外部顧客への売上高にて記載しております。

#### ① 国内事業

当第3四半期連結累計期間の国内事業セグメントは、売上高が910億52百万円（前年同期比1.5%減）、セグメント利益が23億97百万円（同167.4%増）となりました。

温水空調分野では、新設需要が前年を下回りましたが、取替需要が増加する中、「見まもり」「キレイ」機能を備えた主力商品「GTC62シリーズ」を、またガス温水暖房付きふろ給湯器におきましては、浴室暖房乾燥機との連動によって「見まもり」機能をさらに強化した「GTHC61シリーズ」を中心に高効率ガス給湯器「エコジョーズ」の販売を促進しました。特に、衛生ニーズの高まりを背景に、「除菌」機能を搭載したハイエンドタイプ「プレミアムモデル」の販売を大きく伸ばしました。

厨房分野では、中級グレードの「ピアット」と、自動でグリル調理が可能なマルチグリルに燻製や低温調理の機能を追加し、専用のスマートフォンアプリとの連携が可能となった高級グレードの新製品「プログレシリーズ」の販売に注力しました。また、レンジフードとのセット提案により、ガスビルトインコンロの拡販に努めました。

前期に住設システム分野から事業撤退いたしました。温水空調分野を中心に高付加価値商品の販売を強化したことにより、国内事業全体で減収増益となりました。

#### ② 海外事業

当第3四半期連結累計期間の海外事業セグメントは、売上高が465億25百万円（同34.4%増）、セグメント利益が17億21百万円（前年同期は5億27百万円のセグメント損失）となりました。

中国エリアにおいては、感染症の影響が軽減し、ネット販売や内陸部の売上が伸長したことで、収益拡大につながることができました。北米エリアにおいては、ノーリツアメリカ、ボイラーメーカーPB Heat及びFacilities Resource Groupの3社がそれぞれで商品・エリア・流通を補完しながら業務用給湯器・ボイラー・暖房商品の拡販に努めました。豪州エリアにおいては、業務用給湯器の新製品の拡販が堅調に推移しました。以上により、海外事業全体で増収増益となりました。

### (2) 連結財政状態に関する説明

当第3四半期連結会計期間末の総資産残高は、1,953億65百万円（前連結会計年度末比56億39百万円増）となりました。流動資産は、現金及び預金が増加したこと等により1,115億57百万円（同35億5百万円増）となりました。また、固定資産は、投資有価証券が増加したこと等により838億7百万円（同21億34百万円増）となりました。

当第3四半期連結会計期間末の負債合計は、未払法人税等が増加したこと等により787億64百万円（同9百万円増）となりました。

当第3四半期連結会計期間末の純資産合計は、1,166億円（同56億29百万円増）となりました。この結果、自己資本比率は57.6%となりました。

### (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

東南アジアでの新型コロナウイルス感染症拡大による部品サプライヤーの生産遅延ならびに世界的な電子部品・樹脂等の不足により、部品の調達に影響が出ており、一部製品の納期遅延が発生しています。このような状況のもと、2021年5月17日の決算短信で公表いたしました連結業績予想を修正しております。詳細につきましては、本日（2021年11月11日）公表いたしました「通期連結業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2020年12月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2021年9月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	30,821	43,531
受取手形及び売掛金	43,320	32,887
電子記録債権	12,278	9,501
有価証券	102	103
たな卸資産	17,470	20,163
その他	4,479	5,771
貸倒引当金	△420	△401
流動資産合計	108,052	111,557
固定資産		
有形固定資産	33,327	33,726
無形固定資産		
のれん	1,624	1,542
その他	7,604	7,671
無形固定資産合計	9,228	9,213
投資その他の資産		
投資有価証券	31,575	34,345
その他	7,633	6,612
貸倒引当金	△90	△90
投資その他の資産合計	39,117	40,867
固定資産合計	81,673	83,807
資産合計	189,726	195,365
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	37,004	34,950
短期借入金	825	816
未払法人税等	615	1,965
賞与引当金	966	2,034
役員賞与引当金	3	43
製品保証引当金	844	932
製品事故処理費用引当金	34	32
事業整理損失引当金	15	15
その他	18,602	18,196
流動負債合計	58,913	58,987
固定負債		
長期借入金	40	40
役員退職慰労引当金	67	72
製品保証引当金	2,120	2,254
退職給付に係る負債	11,138	10,779
その他	6,474	6,631
固定負債合計	19,841	19,777
負債合計	78,755	78,764

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2020年12月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2021年9月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	20,167	20,167
資本剰余金	22,956	22,963
利益剰余金	61,767	65,764
自己株式	△7,543	△7,509
株主資本合計	97,349	101,387
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	11,023	9,717
繰延ヘッジ損益	12	△60
為替換算調整勘定	△294	2,218
退職給付に係る調整累計額	△942	△714
その他の包括利益累計額合計	9,799	11,162
新株予約権	127	137
非支配株主持分	3,694	3,914
純資産合計	110,971	116,600
負債純資産合計	189,726	195,365

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書  
 (四半期連結損益計算書)  
 (第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2020年1月1日 至 2020年9月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2021年1月1日 至 2021年9月30日)
売上高	127,067	137,577
売上原価	88,327	92,502
売上総利益	38,740	45,075
販売費及び一般管理費	38,371	40,956
営業利益	368	4,118
営業外収益		
受取利息	175	229
受取配当金	537	488
受取賃貸料	117	114
為替差益	—	163
その他	449	342
営業外収益合計	1,279	1,337
営業外費用		
支払利息	76	55
持分法による投資損失	—	114
支払手数料	12	10
固定資産賃貸費用	83	69
為替差損	62	—
操業停止費用	87	—
その他	62	113
営業外費用合計	385	363
経常利益	1,263	5,092
特別利益		
固定資産売却益	—	1,698
投資有価証券売却益	—	2,495
関係会社株式売却益	—	40
関係会社清算益	—	27
特別利益合計	—	4,261
特別損失		
固定資産処分損	48	73
投資有価証券売却損	—	2
投資有価証券評価損	44	—
減損損失	385	—
事業整理損失	643	—
早期退職費用	8,386	—
特別損失合計	9,508	75
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	△8,244	9,278
法人税、住民税及び事業税	706	2,416
法人税等調整額	△2,661	399
法人税等合計	△1,955	2,815
四半期純利益又は四半期純損失(△)	△6,289	6,463
非支配株主に帰属する四半期純利益又は非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	△220	215
親会社株主に帰属する四半期純利益又は親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	△6,069	6,247

(四半期連結包括利益計算書)  
(第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2020年1月1日 至 2020年9月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2021年1月1日 至 2021年9月30日)
四半期純利益又は四半期純損失 (△)	△6,289	6,463
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△741	△1,305
繰延ヘッジ損益	30	△72
為替換算調整勘定	△628	2,762
退職給付に係る調整額	298	228
持分法適用会社に対する持分相当額	—	24
その他の包括利益合計	△1,042	1,636
四半期包括利益	△7,331	8,099
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△7,076	7,611
非支配株主に係る四半期包括利益	△255	488

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(連結の範囲又は持分法適用の範囲の変更)

1. 連結の範囲の重要な変更

第1四半期連結会計期間において、当社の連結子会社であったノーリツ住設㈱、ノーリツリビングテクノ㈱及び非連結子会社であったノーリツ九州販売㈱の3社はノーリツ住設㈱を存続会社として吸収合併し、ノーリツリビングクリエイト㈱へと社名を変更しております。本合併に伴い、ノーリツリビングテクノ㈱は吸収合併消滅会社となったため、連結の範囲から除外しております。

2. 持分法適用の範囲の重要な変更

第2四半期連結会計期間において、Kangaroo International Joint Venture Company (以下、「Kangaroo社」)の株式を取得したことより、新たに持分法適用の範囲に含めております。

(追加情報)

1. Kangaroo社の株式取得の概要

当社は、2021年6月16日にベトナムの浄水器・家電メーカーKangaroo社の発行済株式総数の44.0%を取得し、Kangaroo社を当社の持分法適用関連会社としました。

Kangaroo社は、ベトナム市場において浄水器、電気温水器、厨房機器、据置型冷蔵冷凍庫等を製造、販売しています。浄水器をはじめとするホームアプライアンス事業では国内トップシェアを獲得しており、高いブランド力と国内全域にわたって幅広い販売網を擁する浄水器・家電業界のトップメーカーの一社です。本件株式取得により、当社は従来取扱いのなかった浄水器・家電関連分野の製品ラインナップや東南アジアでの販路及び生産拠点を活用し、既存事業の拡大と東南アジアへの事業進出が可能となります。

当社は市場規模及び今後の経済成長などの観点から、東南アジアを重要な新規開拓エリアと位置付けており、まずは同地域において事業基盤を確保し、拡大することが長期的な成長に資すると判断致しました。

2. 新型コロナウイルス感染症の拡大に伴う会計上の見積りについて

前連結会計年度の有価証券報告書の(追加情報)「新型コロナウイルス感染症の拡大に伴う会計上の見積りについて」に記載した新型コロナウイルス感染症の影響に関する仮定について重要な変更はありません。

(セグメント情報)

I 前第3四半期連結累計期間(自 2020年1月1日 至 2020年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント			調整額	四半期連結 損益計算書 計上額
	国内事業	海外事業	合計		
売上高					
外部顧客への売上高	92,452	34,615	127,067	—	127,067
セグメント間の内部売上高又は振替高	4,879	2,361	7,240	△7,240	—
計	97,332	36,976	134,308	△7,240	127,067
セグメント利益又は損失(△)	896	△527	368	—	368

(注) セグメント利益又は損失(△)の合計は、四半期連結損益計算書の営業利益と一致しております。

II 当第3四半期連結累計期間(自 2021年1月1日 至 2021年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント			調整額	四半期連結 損益計算書 計上額
	国内事業	海外事業	合計		
売上高					
外部顧客への売上高	91,052	46,525	137,577	—	137,577
セグメント間の内部売上高又は振替高	5,855	3,635	9,491	△9,491	—
計	96,907	50,161	147,069	△9,491	137,577
セグメント利益	2,397	1,721	4,118	—	4,118

(注) セグメント利益の合計は、四半期連結損益計算書の営業利益と一致しております。